

予防歯科学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	後藤田 宏也（衛生学）

学修目標 (GIO) と 単位数	<p>単位数：2単位</p> <p>本来、本講義は歯科疾患の予防について学ぶ科目である。しかし今日では、単なる歯科疾患を意識した予防という考え方でなく、体の一部分である歯や口腔が健康であることを通じて、その人自身が健康であること、また、健康かどうかだけでなく、日常生活（活動）が自立しているか、さらに、社会参画が実現しているかといったところまで、守備範囲を広げて学ぶ必要性が出てきている。</p> <p>すなわち、予防歯科学実習を通じて「歯科・口腔」を専門分野としつつ、「体全体」についても深い造詣を持てるように、また、「地域の人々」が生き生きとした生活を送っているかどうかにもまで気配りのできるような態度を身につけるための、基礎的素養を身につけることを目標にする。</p> <p>実習は、「歯科・口腔」の専門家としての基本的技術を体得する実習と、グループによる健康に関する「問題解決」実習を用意してある。前者は、主に、口腔内診査と歯科疾患の予防方法に関するものであり、後者は、広く健康について、グループで問題を設定し、調査や実験によりその問題をチームワークにより解決することを体験する実習である。最終日には成果の発表会を実施し相互評価をする。</p> <p>これらを踏まえて予防歯科学に関する知識・技能および態度を習得する。</p>
担当教員	後藤田 宏也、有川 量崇、那須 郁夫、田口 千恵子、※生田 明敏、※秋月 照彦、内山 敏一、※渡邊 裕、※深井 穂博、※李 昌弘
教科書	口腔衛生学2018 松久保 隆、八重垣 健、前野正夫、那須郁夫、小松崎 明、杉原直樹 監修 一世出版
参考図書	国民衛生の動向 厚生統計協会 厚生統計協会
評価方法 (EV)	<p>講義：授業時間内に行う2回の平常試験（90%）とレポート（10%）によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を行い、再試験を実施する。</p> <p>実習：レポート・提出物の評価（30%）、実習態度（20%）、課題の発表と討論（20%）、筆記試験（30%）とする。</p> <p>最終評価は、講義（60%）、実習（40%）の割合とする。</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>歯科の専門家として、口腔衛生・予防歯科学は、歯科の中心に据えてもらいたい。</p> <p>歯科に関する実習では、基本に忠実にと願いたい。また、問題解決実習（昭和51年からの伝統的実習）では、問題発見から、調査、分析、発表まで、それぞれのグループの個性あふれる研究成果を毎年楽しみにしている。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/25 (火) 2時限 10:40~12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発育、維持向上および疾病の多要因病因説について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔機能の維持増進の意義について説明できる。 2. 口腔機能と発育について説明できる。 3. 摂食・嚥下機能について説明できる。 4. 疾病の多要因病因について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯、口腔の発育発達と機能について概説できる。 疾病の多要因病因について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 b プライマリヘルスケア c ヘルスプロモーション d 健康日本21（第二次） 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 a 口腔の環境・機能</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/25 (火) 2時限 10:40~12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	<p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也
2018/09/25 (火) 3時限 13:10~14:40	<p>実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成</p> <p>-----</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 ②臨床上の疑問 (clinical question (CQ)) を定式化できる。 ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ③科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。 ⑧行動変容と行動療法を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/09/25 (火) 4時限 14:50~16:20	<p>実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/25 (火) 4時限 14:50～16:20	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成	①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/01 (月) 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・口腔清掃	【授業の一般目標】 歯と口腔内環境・口腔清掃について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯、歯質および歯周組織について説明できる。 2. バイオフィーム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃（歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯と口腔内環境および口腔清掃について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	後藤田 宏也
2018/10/01 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準（抜去歯） ・集団歯科検診法 I：う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 学校歯科健康診査について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/01 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齶蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/01 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 学校歯科健康診査について概説できる。 準備学修時間 : 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無 : 無 学修媒体 : マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齶蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/10 (水) 2時限 10:40～12:10	齶蝕予防管理方法 1 : 砂糖の影響とその制限	【授業の一般目標】 齶蝕予防管理方法 (砂糖の影響とその制限) について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 非う蝕誘発性甘味料について説明できる。 2. 間食指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕予防のための砂糖の制限について概説できる。 準備学修時間 : 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無 : 無 学修媒体 : マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/10 (水) 2時限 10:40～12:10	齶蝕予防管理方法 1: 砂糖の影響とその制限	4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論1 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 d 健康教育・学習、保健指導、健康相談 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	有川 量崇
2018/10/10 (水) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I: う蝕 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 学校歯科健康診査基準について概説できる。 準備学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齶蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/10 (水) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I: う蝕 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 学校歯科健康診査基準について概説できる。 準備学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/10 (水) 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齶蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/15 (月) 2時限 10:40～12:10	齶蝕予防管理方法 2 : フッ化物応用 の基礎	【授業の一般目標】 齶蝕予防管理方法(フッ化物応用の基礎)について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. フッ化物の基本的知識について説明できる。 2. フッ化物の代謝について説明できる。 3. フッ化物と歯のフッ素症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 フッ化物応用の基礎について概説できる。 準備学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齶蝕の予防・管理 b 齶蝕の予防効果の評価 d フッ化物応用 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ②齶蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。	後藤田 宏也
2018/10/15 (月) 3時限 13:10～14:40	必須課題] ・集団歯科検診法 II : 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について概説できる。 準備学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/15 (月) 3時限 13:10~14:40	<p>必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	<p>後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘</p>
2018/10/15 (月) 4時限 14:50~16:20	<p>必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	<p>後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘</p>
2018/10/22 (月) 2時限 10:40~12:10	<p>齲蝕予防管理方法 3：フッ化物応用・ フィッシャーシーラント</p>	<p>【授業の一般目標】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. フッ化物による齲蝕予防のメカニズムについて説明できる。 2. フッ化物の全身応用法について説明できる。 3. フッ化物の局所応用法について説明できる。 4. フィッシャーシーラントについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p>	<p>後藤田 宏也</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/22 (月) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 3:フッ化物応用・ フィッシャーシー ラント	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価 d フッ化物応用 e 食生活指導</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2018/10/22 (月) 3時限 13:10～14:40	<p>[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ: 歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。 準備学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/22 (月) 4時限 14:50～16:20	<p>[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ: 歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。 準備学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/22 (月) 4時限 14:50～16:20	[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 1 実習室、第 4 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的探究の重要性を説明できる。 ④科学的探究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/10/29 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周疾患と全身状態	【授業の一般目標】 歯周疾患と全身状態について理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 歯周疾患の定義、特徴および分類について説明できる。 2. 歯周疾患の病因について説明できる。 3. 歯周疾患の予防管理の具体的な進め方について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周疾患の定義について概説できる。 歯周疾患の予防管理について概説できる。 歯石除去法と咬合管理について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 1 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 a 歯肉炎の予防・管理 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変 b 歯肉病変のリスクファクター c 歯周炎 d 歯周炎のリスクファクター b 歯周炎の予防・管理 d 口腔清掃指導 e 禁煙指導・支援 f 生活習慣指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	有川 量崇
2018/10/29 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/29 (月) 3時限 13:10～14:40	----- [選択課題]	<p>2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について説明できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	李 昌弘
2018/10/29 (月) 4時限 14:50～16:20	<p>実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法</p> <p>----- [選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について説明できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/29 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/05 (月) 2時限 10:40～12:10	疾病のリスク評価 の実際・口臭予防	【授業の一般目標】 う蝕リスク診断法とその特徴および口臭の原因と予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯、宿主要因に関するリスク診断について説明できる。□ 2. 微生物要因に関するリスク診断について説明できる。 3. 飲食物の要因と時間要因に関するリスク診断について説明できる。 4. 口臭症と歯科臨床について説明できる。 5. 口臭の臨床ガイドラインについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕のリスク診断法について概説できる。 口臭予防について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	内山 敏一
2018/11/05 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/05 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/05 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/12 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標 平常試験1 解説講義	【授業の一般目標】 歯科保健の統計指標について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 疾病数量化の基本概念について説明できる。 2. う蝕の統計指標について説明できる。 3. 歯周疾患の統計指標について説明できる。 4. 口腔清掃状態の統計指標について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科保健の統計指標について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 【コアカリキュラム】	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/12 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標 平常試験1 解説講義	B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	後藤田 宏也
2018/11/12 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学等) に積極的に参加する。</p> <p>B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/12 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養)</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/12 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/19 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科疾患統計の実際	【授業の一般目標】 歯科疾患統計の実態について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯の喪失の実態について説明できる。 2. 歯の喪失の原因について説明できる。 3. う蝕の疫学的特性について説明できる。 4. う蝕の有病状況について説明できる。 5. 根面う蝕の状況について説明できる。 6. 歯周疾患の疫学的特性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患統計の実態について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 b 人口統計、保健統計 a 齲蝕の疫学要因 b 歯周疾患の疫学要因 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健統計 ②主な保健医療統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等)を説明できる。 ③主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等)を説明できる。 ④調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2018/11/19 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 実習	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/19 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/19 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびFイオン濃度測定について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/26 (月) 2時限 10:40～12:10	母子歯科保健	【授業の一般目標】 母子を対象とした集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 妊産婦の歯科保健について説明できる。 2. 乳幼児の歯科保健について説明できる。 3. 母子保健手帳について説明できる。 4. 母子歯科保健のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/26 (月) 2時限 10:40～12:10	母子歯科保健	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 母子歯科保健について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論1 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 c 母子歯科保健の意義</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論1 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 a 現状、動向 b 母性保健 d 妊産婦の歯科保健 e 乳幼児の歯科保健と健康診査 f 児童福祉制度 g 児童虐待への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。</p>	有川 量崇
2018/11/26 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。</p> <p>B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/11/26 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/26 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	李 昌弘
2018/12/03 (月) 2時限 10:40～12:10	学校歯科保健	<p>【授業の一般目標】 学校歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科医について説明できる。 2. 学校歯科保健活動について説明できる。 3. 学校教育法および学校保健安全法について説明できる。 4. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 学校歯科保健について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 e 学校歯科保健管理</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 a 現状、動向 b 学校保健の領域・内容 c 学校保健関係者 d 学校歯科保健教育 f 組織活動 g 学校安全</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2018/12/03 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	実習 [選択課題]	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/12/03 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/12/10 (月)	産業歯科保健	【授業の一般目標】	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	産業歯科保健	<p>産業歯科保健について理解できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 産業歯科保健の意義について説明できる。 2. 産業歯科保健に関する制度について説明できる。 3. 口腔領域に現れる職業性疾患について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 産業歯科保健について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論1 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論1 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 a 現状、動向 b 労働安全衛生管理 c 業務上疾病、作業関連疾患 d 健康診断、事後措置 f 産業歯科保健活動 g 職業性歯科疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2018/12/10（月） 3時限 13:10～14:40	実習〔選択課題〕	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/10 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題]	⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/12/10 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/12/17 (月) 2時限 10:40～12:10	成人・老人歯科保健	<p>【授業の一般目標】 成人、高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。</p> <p>1. 高齢者の特性 2. 加齢による身体的、精神的変化 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 4. 高齢者に対する歯科疾患予防 5. 高齢者の歯科診療における注意点 6. 摂食嚥下障害への対処 7. 制度とニーズ把握</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の特性について説明できる。 2. 加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4. 高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5. 高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。 6. 摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7. 制度とニーズ把握について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 成人・老人歯科保健について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	渡邊 裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/17 (月) 2時限 10:40~12:10	成人・老人歯科保健	<p>総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 d 高齢者歯科保健、高齢者の口腔管理</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 エ 成人保健、成人歯科保健 a 現状、動向 c 成人歯科保健、成人の口腔保健管理 a 現状、動向 b 高齢者の特性 c QOL <quality of life>、日常生活動作 <ADL> e 日常生活支援事業、介護予防</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。</p>	渡邊 裕
2018/12/17 (月) 3時限 13:10~14:40	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2018/12/17 (月) 4時限 14:50~16:20	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/17 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2019/01/21 (月) 2時限 10:40～12:10	障害者歯科保健・ 国際歯科保健	【授業の一般目標】 障害者歯科保健と国際歯科保健について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 障害の概念について説明できる。 2. 障害児・者の口腔保健の特性について説明できる。 3. 口腔保健管理とそれを支える特性について説明できる。 4. 国際歯科保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 障害者歯科保健と国際歯科保健について概説できる。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 b 国際保健、医療協力 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 a 現状、動向 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。	深井 穂博
2019/01/21 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/21 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2019/01/21 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2019/01/28 (月) 2時限 10:40～12:10	まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患の予防について概説できる。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/28 (月) 2時限 10:40～12:10	まとめ	301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 a 健康の概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	後藤田 宏也
2019/01/28 (月) 3時限 13:10～14:40	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2019/01/28 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/28 (月) 4時限 14:50～16:20	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2019/01/31 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2 解説 講義	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患の予防について概説できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患 (齲蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也
2019/01/31 (木) 3時限 13:10～14:40	実習試験 解説講義 まとめ	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患の予防について概説できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/31 (木) 3時限 13:10~14:40	実習試験 解説講義 まとめ	③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 ④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘
2019/01/31 (木) 4時限 14:50~16:20	実習試験 解説講義 まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 ④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘